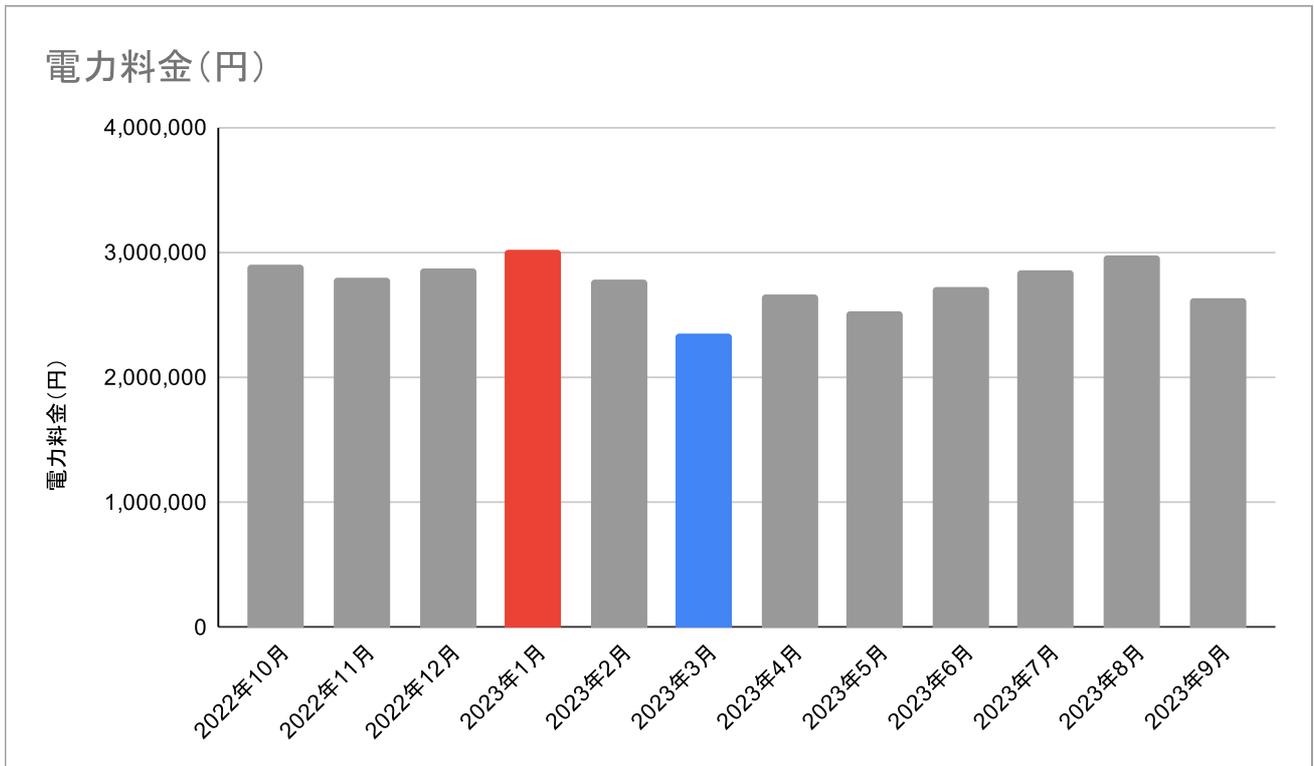
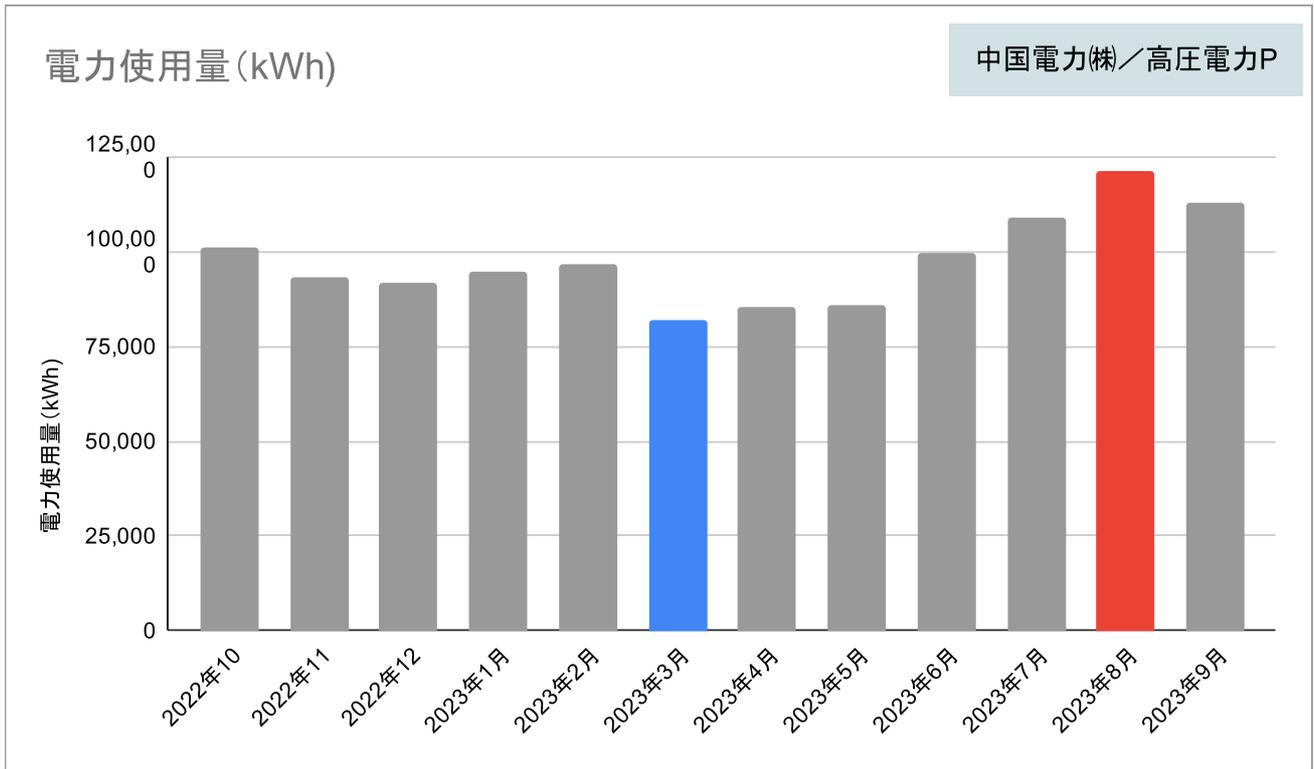


区分	現状	対策項目	投資	効果	補助
総評	<p>2021年オープンのお店であり、エネルギー効率は高い。課題であった、西陽がもろに当たる室外機自体が熱を持つ問題の対策として、遮熱の為の特殊塗料を塗布する。新店にありがちな、エネルギー効率の良い新しい店だからと言うことでの運用改善へ向けての気の緩みも見られない。次なる課題は、テナント入居のドラッグストアのWants分の電気使用もフレスタ様の契約電力に影響を与えている為、テナントを巻き込んだ省エネ対策である。2年前の新店であり、本店舗を、ZES（ゼロエネルギーストア）への第一ステップの店舗と位置付け、太陽光自家消費、蓄電池の導入等を先行して行い、モデル店にすることも検討の価値がある。</p>	<p>昨年8月の最大需要電力は<b>293KW</b>であったが、<b>遮熱特殊塗料の効果</b>により室外機の外気の吸込み温度が下がり、下記するデマンドデータのグラフからも分かるように、今夏8月の最大需要電力は<b>279KW</b>に抑えられ（▲4.8%）ている。この抑制分は、冷凍機、空調機の消費電力の削減に直結をしているだけでなく、契約電力が14KW引き下げられたことから、基本料金の年間電気代削減金額としては（基本料金単価を税込み1,200円/KWとすると）、1,200円×14KW×0.85×12ヶ月 = <b>171,360円</b>となる。更なる、エネルギー効率の改善に向けて、エナッジを活用した運用改善のノウハウのWantsへの提供や、例えば、夏場における閉店1時間前の空調オフ等への協力要請を行う。先方も、電気代の高騰対策の推進は最優先の課題であり、連動しての省エネ活動は充分可能と思われる。</p>			
管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー管理システムによる 日々の電気使用量の管理。</li> <li>テナント（Wants）の電気代はメーター読取りにて個別に請求。</li> </ul>				
照明	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗は新型のLED</li> <li>バックヤードは1灯型普通管LEDがメインである。</li> <li>各作業場に2灯型LEDがある。</li> <li><b>【多段オープンケースの庫内】</b></li> <li>飲料（27尺）は、オーバーキャノピー&amp;最上段の1灯を残し消灯</li> <li>酒類（26尺）は、オーバーキャノピー2灯&amp;最上段の1灯を残して消灯</li> <li><b>【卵のショーケースの庫内】</b></li> <li>全灯</li> <li><b>【リーチインの庫内】</b></li> <li>全灯</li> <li><b>【アイスの平ケースの庫内】</b></li> <li>全灯</li> <li><b>【飲料メーカー持込みの冷ショーケース】</b></li> <li>2機共に消灯</li> <li><b>【バックヤード作業場】</b></li> <li>全灯</li> <li><b>【事務所】</b></li> <li>消灯</li> <li><b>【従業員休憩室】</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バックヤード通路側の照明は、昼間は窓から外光がふんだんに入って来るために、LEDと言えども間引きを検討する。（半分で運営可）</li> <li>作業場の2灯型LEDは、5年後の寿命が来る時期を見て、1灯型に更新をする。</li> <li>最上段の照明を点けているのは、全て消灯をするとナイトモードに切り替わるためと思われるが、この度の、飲料/酒類の多段オープンケースの非冷を機に、全段消灯を行う。</li> <li>卵も同様に、この度の非冷を機に、全段消灯を行う。</li> <li>リーチインの庫内照明の間引きを検討する。（両サイドのみ点灯のスーパーあり）</li> <li>冷凍冷蔵庫のスイッチのところに、改めて「こまめな消灯を！」のシールを張って、ドアを閉める際の庫内照明の消灯を徹底する。</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全灯</li> <li>【従業員用トイレ】</li> <li>・人感センサー</li> <li>【ゴミ庫】</li> <li>・消灯</li> <li>【冷凍・冷蔵庫内の照明】</li> <li>・日配冷蔵庫・日配冷凍庫・精肉冷蔵庫以外の5基の冷凍・冷蔵庫全て全灯</li> </ul> <p>★精肉作業場は、夕方に向けての作業終了後も、作業室内照明が全灯であった。</p>	<p>【飲料/酒類/卵のオープンケースの完全消灯による年間電気代削減効果】</p> <p>59尺÷4（4尺で庫内照明20W1本）×5灯 ×20W×14時間×364日 = <b>7,517kWh</b>（年間電気代換算<b>211,979円</b>）</p> <p>★作業場の都度都度の作業終了後の消灯ルールの徹底度合いのチェックを行う。基本、作業終了後は、作業場照明の全消灯を行う。（全作業終了後も、作業場の照明が落とされているかのチェックも含めて）</p>			
空調	<p>【空調室外機の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年4月に室外機に特殊塗料を塗布して、空調機のエネルギー効率の改善を図る。</li> <li>・特に汚れはない。</li> </ul> <p>【空調室内機の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に汚れはない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遮熱塗料は、劣化のスピードが早いので、毎年、その効果測定を行う。</li> </ul>			
冷凍・冷蔵ショーケース	<p>バックヤードにおける集中管理（冷凍冷蔵庫を含む）を行っている。</p> <p>【飲料・酒類ケースの温度管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲料（27尺）⇒非冷</li> <li>・酒類（26尺）⇒非冷</li> </ul> <p>【卵のショーケースの温度管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（6尺）非冷</li> </ul> <p>【その他のケースの温度管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集中管理が行われており、見た限り、管理温度を外れているものはなかった。</li> </ul> <p>【ロードラインの塞ぎが目立つ冷ケース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青果の一部</li> </ul> <p>★デザート冷ケースの吸込み口に緑のツタの造花の装飾がなされており、ロードラインを塞いでいる。</p> <p>【ハニカムの汚れがある冷ケース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にない。</li> </ul> <p>【冷凍室外機の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年4月に室外機に遮熱の為の特殊塗料を塗布して、冷凍機のエネルギー効率の改善を図る。特に汚れはない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査日が、飲料/酒類、及び、卵のオープン多段ケースの非冷の本部指示が出た後で、既に、キッチンと実行をされていた。</li> <li>★冷ケースの温度を1℃上げることで当該ケース全体の電気消費量7%削減を現場に教える。</li> </ul> <p>【飲料/酒類/卵/酒類特設のオープンケースの非冷による年間電気代削減効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・59尺×100W×14時間×364日 = <b>30,066kWh</b>（年間電気代換算<b>847,861円</b>）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造花装飾も、飾り方（巻きつけ方）の工夫で、ロードライン塞ぎは防げる。</li> <li>★ロードラインが商品で詰まるとケース内で冷気が循環せず、結果、多段オープンケースの庫内温度が上がり、1℃温度を下げるために余計な消費電力が7%増えると言う伝え方を現場に対して行う。</li> </ul>			
給湯					
給排水設備					

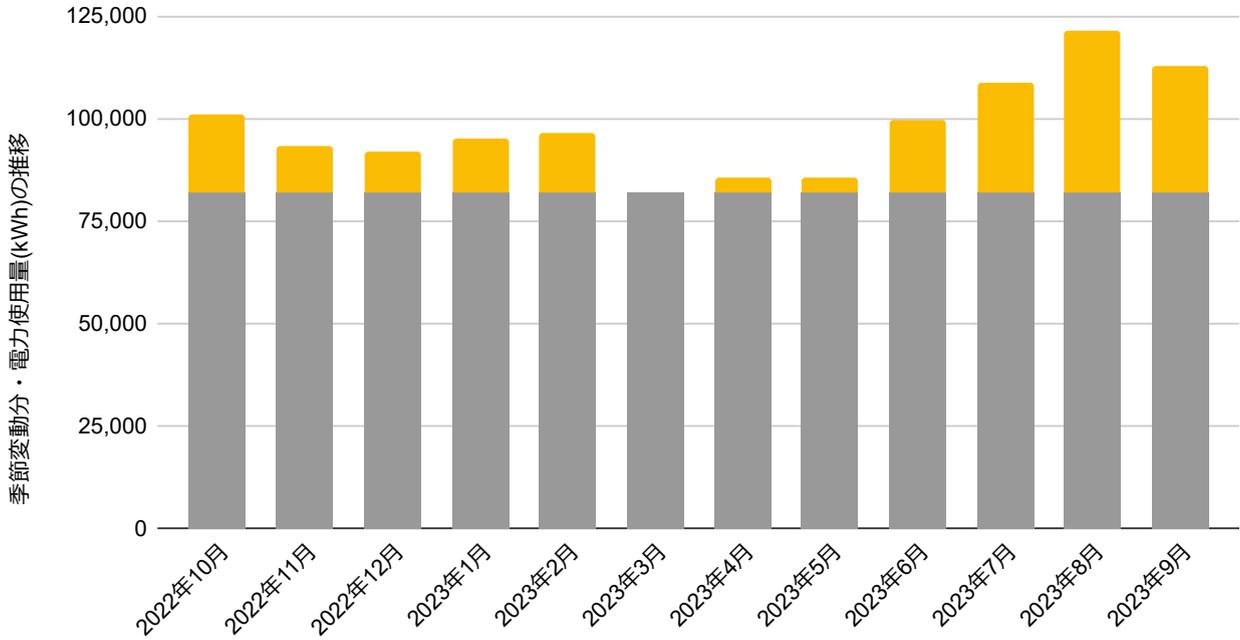
受変電設備				
デマンド監視	〇〇〇〇が導入され、運用改善を通じてのデマンドコントロールが試みられている。	新しい店舗であり、断熱も出来ていることから、また、この度の、室外機への遮熱の為の特殊塗料の塗布で西日問題はクリアされていることから、本「省エネ診断」実施に際して確保した1年365日24時間の30分コマのデマンドデータを基に、過去1年間での最大需要電力の30分のコマがどこにあるか（何月何日の何処の時間帯の30分か）を探り出し、その原因を探ることで、更なるデマンドの削減を推し進め、下記する、太陽光自家消費&蓄電池の採用で、ベンチマーク指数やCO <sub>2</sub> 排出削減において全社NO1店舗を目指す。		
建物・断熱	2023年4月に室外機に遮熱の為の特殊塗料を塗布する。	今夏、最大需要電力の4.8%の削減を実現した。夏期においては、同率での冷凍機・空調機の消費電力量の削減に繋がっている。本年9月からは、今夏、異常な高温だったにも拘らず、契約電力が293KWから279KWになっている。 基本料金の年間削減効果だけでも、金額換算で、 <b>171,360円</b> となる。（基本料金単価1,200円/KWにて試算） 実際の効果は、異常気温の今夏であっても契約電力の引き下げに繋がったことから、昨夏と今夏が同環境（気温）であれば、10%近い省エネ効果があったのではないかと思われる。		
非化石再エネ	太陽光パネルを設置する環境が整っている施設であるが、大きな店舗看板が建っており、この日影問題の解消が課題である。	・蓄電池と組み合わせることで、その屋根における断熱効果を含め遮熱特殊塗料の塗布に続くデマンド対策にもなることから、看板の撤去を含めて、太陽光発電自家消費を検討する価値が充分ある。 オープン後2年で〇〇〇〇様の店舗として周辺住民に根付いており（看板の役割の終了）、補助金を最大限活用することで、看板の撤去費用は加わるものの、早期の償却は可能となる。		
電力調達	××電力	××電力は、いつまで大口契約を維持してくれるかわからないため、価格交渉力の確保を視野に入れて需要家新電力を検討するフェーズに来ている。		

△△△△店 グラフ

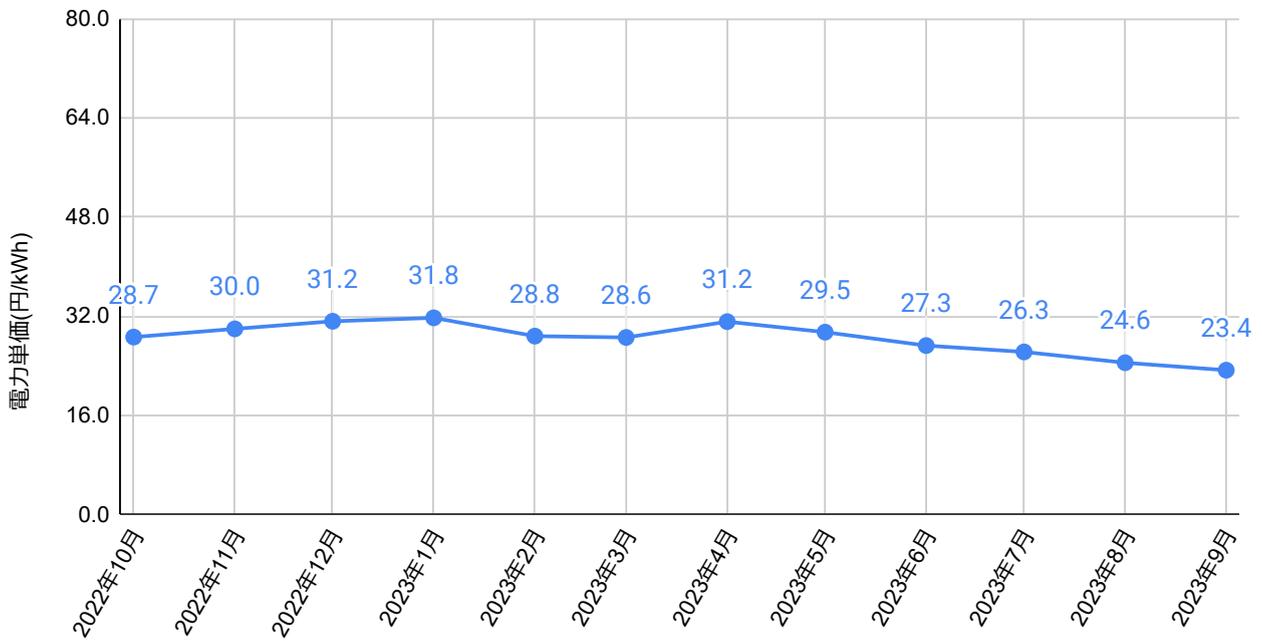


### 季節変動分・電力使用量(kWh)の推移

季節変動分 全体の16%



### 電力単価(円/kWh)



# 契約電力と最大需要電力 (kW)

